



作品紹介

昭和100年、酒田大火から50年

令和8年度から、国立映画アーカイフから借用できる作品が4本から2本となりました。そのため実行委員会では特別上映2本を加え、計4本を上映します。

フィルム上映

昭和100年を振り返り、日本映画史を代表する2作品

個性的な登場人物と大胆な演出で時代劇の可能性を広げた、大映時代劇の名作。希少な35mmフィルムでの鑑賞体験を



11/27 (金) 10:00~
11/28 (土) 10:00~

羅生門

監督 黒澤 明

1950年 (昭和25年) 大映 (モノクロ・デジタル復元版 / スタンダード / 88分)

原作は芥川龍之介の「藪の中」、タイトル設定は同作家の「羅生門」。トーキー (音声付き) 映画時代において、サイレント (無声) 映画の美しさを意識した映像表現に挑戦。斬新な撮影テクニックでモノクロ映像の美しさが引き立つ。第12回ベネチア国際映画祭でグランプリ、第24回アカデミー賞の最優秀外国語映画賞を受賞。敗戦後、日本の芸術水準の高さと国際理解を海外に知らしめ、世界の黒澤の地位を築いた。

出演 三船敏郎、京マチ子、志村喬、森雅之ほか

座頭市物語

1962年 (昭和37年) 大映 (モノクロ / シネスコ / 96分)

監督 三隅研次

勝新太郎の当たり役、シリーズ第1作。天保水滸伝を下地に孤高の浪人・平手造酒 (みき) との心の交流を軸に切れの良いアクション映画に。座頭市の哀愁と怒りを全身で表現した勝新太郎と、天知茂演じるニヒルでクールな平手造酒の魅力が炸裂。陰影に富んだモノクロームの映像で孤独なアウトローの世界を描き切った。

出演 勝新太郎、天知茂、万里昌代、島田竜三ほか



11/27 (金) 13:00~
11/29 (日) 10:00~

特別上映

2本のドキュメンタリー映画をお楽しみください。

- ・酒田大火から50年、多くの上映希望の声に応え「世界一と言われた映画館」
- ・櫛引の黒川地区に伝わる伝統の王祇祭にまつわる「王祇様と暮らす」



11/28 (土) 15:30~
11/29 (日) 13:00~

世界一と言われた映画館

監督 佐藤広一

2017年 (カラー / 日本 / 67分)

1976年 (昭和51年) 10月29日酒田大火。その火元となった世界一デラックスな映画館と謳われた「グリーン・ハウス」を愛した人たちの証言集。語りには本作に共感した名優・大杉漣が参加。酒田大火から50年の今年、映画館「グリーン・ハウス」を愛した人、そして酒田大火を経験していない市民にも、ぜひ見てほしい作品。

王祇様と暮らす

2025年 (カラー / 日本 / 124分)

監督 伊藤桃与

鶴岡市黒川に500年以上伝わる王祇祭 (おうぎさい) は、暮らしとともに変化しながら受け継がれてきた。地域の人々が毎年繰り返す膨大な準備を丁寧に追ったドキュメンタリー映画。50年後の未来を見据え、変わりゆくもの、受け継がれるものを問いかける。監督は鶴岡市大鳥在住の現代アーティスト・伊藤桃与。



11/28 (土) 13:00~
11/29 (日) 14:30~